

介護業界における価格転嫁とM&A

介護業界



トビックス

東京商工リサーチ
によると2024年、介護事業者の倒産件数が過去最多の172件に達し、前

年比40・9%増となりました。特に「訪問介護」は、介護人は、まさに社会イン材の不足や集合住宅型介護施設との競合、基本報酬のマイナス改定などが影響し過去最多の81件となりました。さらに、ニーズが多様化する「デイサービス」が過去2番目の56件といずれも増加しています。

倒産の主な原因は、利用者の獲得遅れなどによるが125件で最多となります。また、倒産した多くの小規模事業者で、従業員10人未満の事業所が大半を占めます。介護を担う人材の人手不足や物価高騰、介護報酬の引き下げなどが経営を圧迫し、倒産増加の背景となっています。

(M&Aキャピタル
本稿にて度々お伝えしているように、
厳しい経営環境において介護事業を永続

パートナーズ企業
情報部 課長 小沼航大